

2013年度第3四半期決算説明会



2014年1月31日

1. 2013年度第3四半期決算概要

ポイント 増収減益

(+ - ,+ / ▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	+999	:	+	都市ガス売上増	(+460:数量減▲453(内気温分▲169)、スライド差+867等)
			+	LNG販売売上増	(+182:数量増等)
			+	海外売上増	(+58:プルート稼働増、バーネット権益取得等)
営業費用	▲1,110	:	-	都市ガス原材料費増	(▲567:数量減+257(内気温分+57)、為替▲1,083、油価+263等)
			-	LNG販売営業費用増	(▲178:数量増等)
			-	海外営業費用増	(▲64:プルート稼働増、バーネット権益取得等)
営業利益	▲112	:	-	都市ガス利益減	(▲110:ガス粗利▲107(うち気温影響▲112))
経常利益	▲186	:	-	営業外収支の悪化	(▲73:為替差損の拡大▲57、専用設備料収入の剥落▲22、等)

(単位: 億円)

	2013年度3Q	2012年度3Q	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	10,130	10,825	▲695	▲6.4%
売上高	14,353	13,354	+999	+7.5%
営業費用	13,474	12,364	+1,110	+9.0%
営業利益	878	990	▲112	▲11.3%
経常利益…①	831	1,017	▲186	▲18.3%
当期純利益	551	640	▲89	▲13.8%

気温影響…②	▲91	21	▲112	—
スライドタイムラグ…③	176	132	44	—
年金数理差異償却額…④	▲16	▲33	17	—
補正経常利益①-(②+③+④)	762	897	▲135*	▲15.1%
補正当期純利益	506	560	▲54	▲9.6%

※▲135:ガス販売量減▲47(気温・トーリング影響▲149控除後)、器具・工事+22、海外事業▲6、営業外▲73、その他のセグメント利益等▲31

経済フレーム(3Q)	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
今回実績	99.36	109.44	20.4
前年度実績	79.95<+19.41>	113.98<▲4.54>	19.7<+0.7>

年金	運用利回り ※コスト控除後	期末資産(億円)
2013年度3Q	0.06%	2,710

<>内対前年度増減

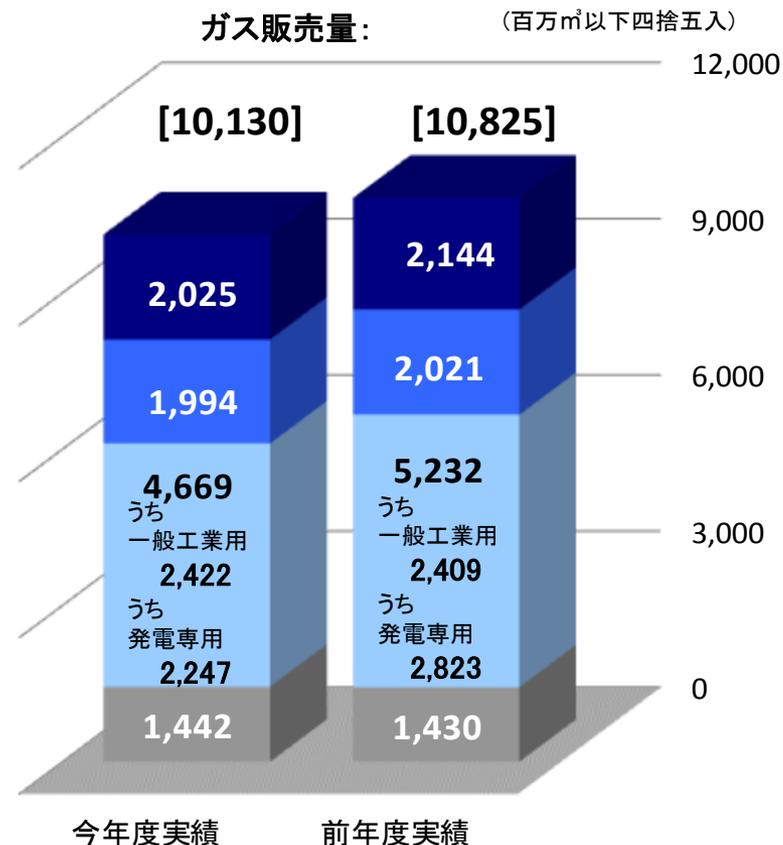
期待運用収益率:2%

前年度実績→今年度実績

▲695百万m³ (▲6.4%)の減少

[うち気温影響▲141百万m³, ▲1.3%の減少]

■ 家庭用	▲119百万m ³ (▲5.5%)
● 気温要因	▲118百万m ³
● 日数影響	▲6百万m ³
● お客さま件数	+28百万m ³
● その他	▲23百万m ³
■ 業務用	▲27百万m ³ (▲1.3%)
● 気温要因	▲13百万m ³
● 日数影響	▲4百万m ³
● お客さま件数	+1百万m ³
● その他	▲11百万m ³
■ 工業用	▲563百万m ³ (▲10.8%)
● 一般工業用:	+13百万m ³
● 発電専用:	▲576百万m ³
トーリング影響	▲709百万m ³
鹿島地区増分	+68百万m ³ 他
■ 卸	+12百万m ³ (+0.9%)
● 気温要因	▲10百万m ³
● その他	+22百万m ³
卸供給事業者需要増等	



お客さま件数(万件)

2013.3Q実績	2012.3Q実績	増減
1,105.7	1,093.3	+12.4 (+1.1%)

	2013年度3Q	2012年度3Q	増減
LNG液販売量(千t、ニジオ向け除く)	550	383	+167
平均気温(°C)	20.4	19.7	+0.7

3Q実績

■ トーリングによるガス使用量込(単位:百万m3)

	2013年度 3Q	2012年度 3Q	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	10,130	10,825	▲695 ▲6.4%
トーリングによる ガス使用量	1,077	426	+651 +152.6%
合計	11,207	11,252	▲45 ▲0.4%

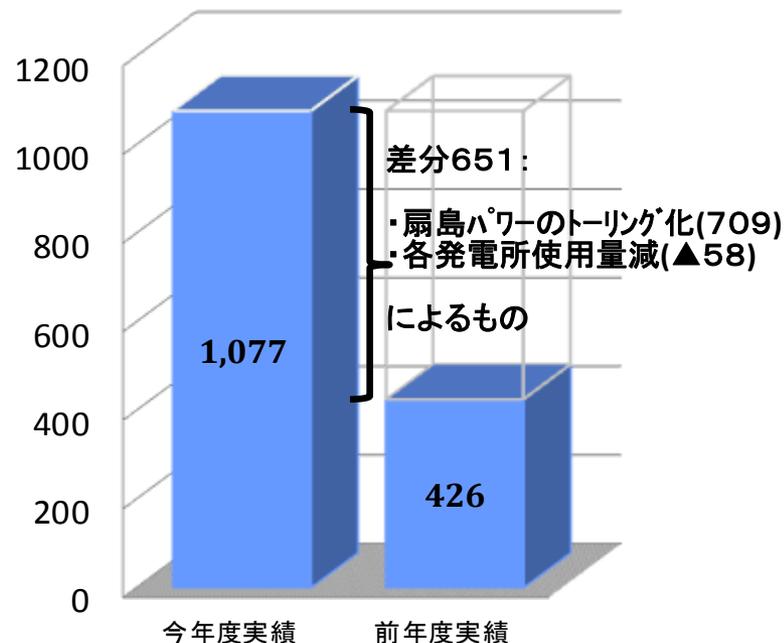
■ 工業用ガス販売量内訳(単位:百万m3)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	291	1,955	2,247
対前年度実績	+ 68(+30.4%)	▲644※(▲24.8%)	▲576 (▲20.4%)
一般工業用	127	2,295	2,422
対前年度実績	+69 (+116.6%)	▲55 (▲2.3%)	+13 (+0.6%)
合計	419	4,251	4,669
対前年度実績	+ 136(+48.3%)	▲699 (▲14.1%)	▲563 (▲10.8%)

※うちトーリング移行分: ▲709

トーリングによるガス使用量

百万m³, 45MJ/m³



トーリング: 電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡して受託発電料を得る契約

(単位:億円)

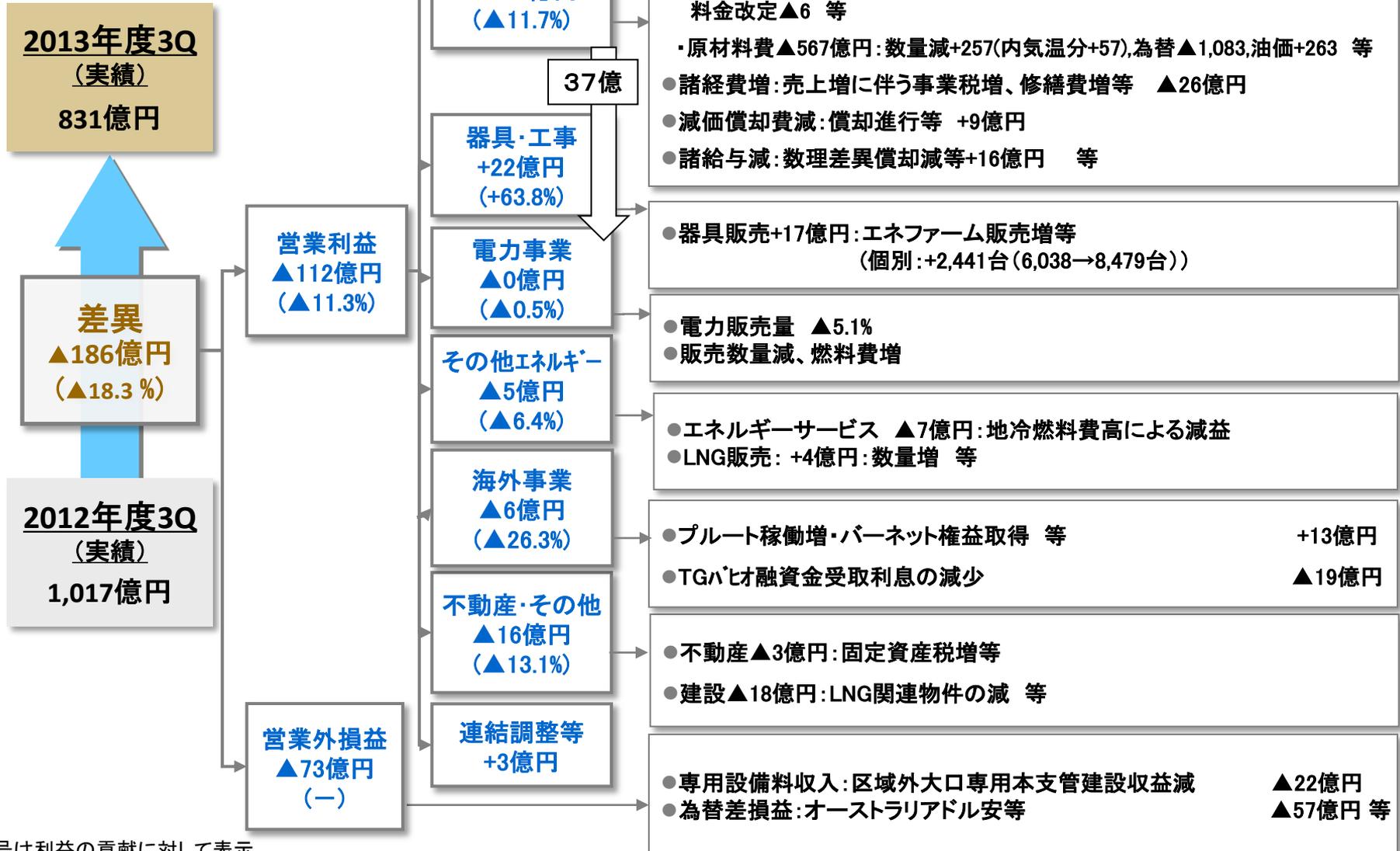
	売上高				セグメント利益			
	2013年度3Q	2012年度3Q	増減	%	2013年度3Q	2012年度3Q	増減	%
都市ガス	10,148	9,688	460	4.8	823	933	▲110	▲11.7
器具及びガス工事	1,521	1,472	49	3.3	55	33	22	63.8
その他エネルギー	2,524	2,406	118	4.9	202	207	▲5	▲2.4
(電力事業)	966	938	28	2.9	140	140	0	▲0.5
不動産	213	226	▲13	▲5.9	45	48	▲3	▲5.6
その他	1,332	1,354	▲22	▲1.6	75	94	▲19	▲20.3
(海外事業)	135	77	58	74.0	18	24	▲6	▲26.3
調整額	▲1,388	▲1,794	406	—	▲324	▲327	3	—
連結	14,353	13,354	999	7.5	878	990	▲112	▲11.3

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
 - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」等を含みます。
 - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
 - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
 - ・ ()内は内数表示

2013年度3Q実績 経常利益分析

〈対前年度実績〉

(単位:億円)



※符号は利益の貢献に対して表示

2. 2013年度 通期見通し

通期見通しのポイント 増収減益

(+ - ,+/-▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	+60	+	都市ガス売上増	(+172:数量増+91,スライド差+81)
		+	建設売上増	(+38:エンジニアリング売上増等)
		+	器具工事売上増	(+20:販売台数増)
		-	LNG販売売上減	(▲34:販売数量減)
		-	セグメント間連結調整	(▲178:前回見込み間違い等)
営業費用	▲150	-	都市ガス原材料費増	(▲260 :数量増▲69、為替▲121、油価▲48、LPG単価差等▲22)
		-	海外営業費用増	(▲30 :バーネット費用増▲25等)
		+	セグメント間連結調整	(+187:前回見込み間違い等)
営業利益	▲90	-	都市ガス営業利益減	(▲66 :ガス粗利▲88(内数量増+22、スライドタイムラグ▲110))
		-	海外営業利益減	(▲34 :バーネット費用増▲25等)

(単位:億円)

	今回見通し	前回見通し(10/30)	増減	%	前年度実績	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	14,609	14,483	+126	+0.9%	15,390	▲781	▲5.1%
売上高	20,860	20,800	+60	+0.3%	19,156	+1,704	+8.9%
営業費用	19,360	19,210	+150	+0.8%	17,700	+1,660	+9.4%
営業利益	1,500	1,590	▲90	▲5.7%	1,456	+44	+3.0%
経常利益...①	1,430	1,530	▲100	▲6.5%	1,474	▲44	▲3.0%
当期純利益	970	1,030	▲60	▲5.8%	1,016	▲46	▲4.6%
気温影響...②	▲81	▲85	+4	—	29	▲110	—
スライドタイムラグ...③	111	221	▲110	—	▲124	+235	—
年金数理差異償却額...④	▲22	▲22	0	—	▲44	+22	—
補正経常利益...①-(②+③+④)	1,422	1,416	+6*	+0.4%	1,613	▲191	▲11.8%
補正当期純利益	965	955	+10	+1.0%	1,109	▲144	▲13.0%

※+6:ガス販売量増+18(気温影響4控除後)、ガス固定費減+22、器具工事+8、海外▲34、その他のセグメント利益減等▲8

4Q原油価格・為替レート変動 粗利影響感度	4Q	経済フレーム	為替レート	原油価格	平均気温	年金	運用利回り ※コスト控除後	割引率	期末資産 (億円)
		(通年)	(¥/\$)	(\$/bbl)	(°C)				
		今回見通し	100.77	109.58	17.1	2012年度	6.10%	1.4%	2,760
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	▲1	前回見通し	99.43(+1.34)	108.83(+0.75)	17.0(+0.1)	2011年度	5.13%	1.7%	2,540
円・ドルレートが¥1/\$円安	▲17	2012年度	82.91<+17.86>	113.88<▲4.30>	16.6<+0.5>				

()内対前回増減、<>内対前年度増減

期待運用収益率:2%

連結ガス販売量見通し

前回見通し → 今回見通し

+126百万m³ (+0.9%)の増加
 [うち気温影響+12百万m³, +0.1%の増加]

■ 家庭用	+14百万m ³ (+0.4%)
● 気温要因	+6百万m ³
● 日数影響	+3百万m ³
● お客さま件数	+8百万m ³
● その他	▲3百万m ³

■ 業務用	+11百万m ³ (+0.4%)
● 気温要因	+5百万m ³
● 日数影響	▲1百万m ³
● お客さま件数	▲0百万m ³
● その他	+9百万m ³

■ 工業用	+92百万m ³ (+1.5%)
● 一般工業用:	+69百万m ³
既存設備稼働増等	
● 発電専用:	+22百万m ³
既存設備稼働増等	

■ 卸	+8百万m ³ (+0.4%)
● 気温要因	+1百万m ³
● その他	+7百万m ³
卸供給事業者需要増等	

前年度実績 → 今回見通し

▲781百万m³ (▲5.1%)の減少
 [うち気温影響▲115百万m³, ▲0.7%の減少]

■ 家庭用	▲95百万m ³ (▲2.7%)
● 気温要因	▲103百万m ³
● 日数影響	▲6百万m ³
● お客さま件数	+47百万m ³
● その他	▲33百万m ³

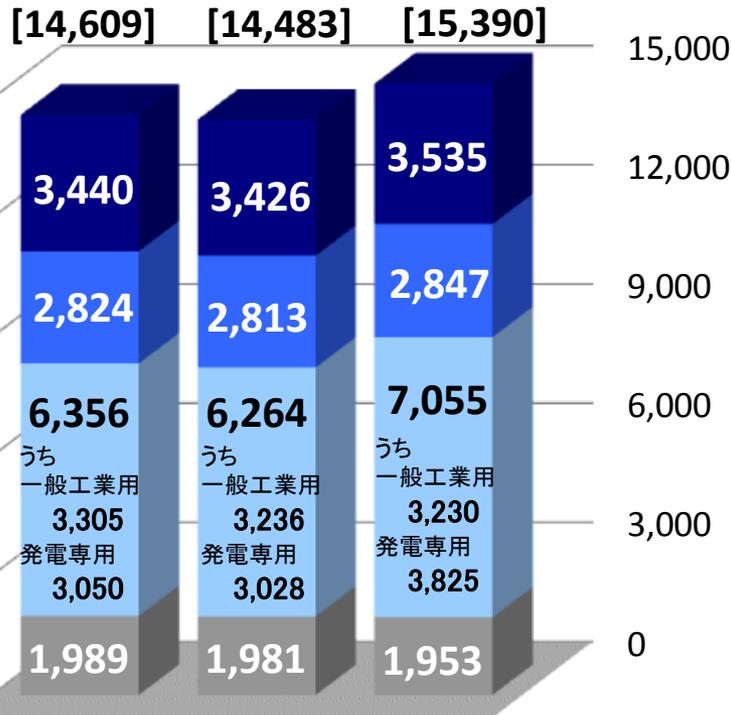
■ 業務用	▲23百万m ³ (▲0.8%)
● 気温要因	▲5百万m ³
● 日数影響	▲4百万m ³
● お客さま件数	+1百万m ³
● その他	▲15百万m ³

■ 工業用	▲699百万m ³ (▲9.9%)
● 一般工業用:	+75百万m ³
鹿島地区稼働増等	
● 発電専用:	▲774百万m ³
トーリング影響	▲969百万m ³
鹿島地区増分	+217百万m ³ 等

■ 卸	+36百万m ³ (+1.9%)
● 気温要因	▲7百万m ³
● その他	+43百万m ³
卸供給事業者需要増等	

ガス販売量:

(百万m³以下四捨五入)



	今回見通し	前回見通し	増減
	LNG液販売量 (千t、ニジオ向け除く)	748	790
平均気温(°C)	17.1	17.0	+0.1

お客さま件数(万件)

今回見通し	前回見通し	増減
1,112.0	1,110.5	+1.5(+0.1%)

2013年度見通し

●トーリングによるガス使用量込

百万m³, 45MJ/m³

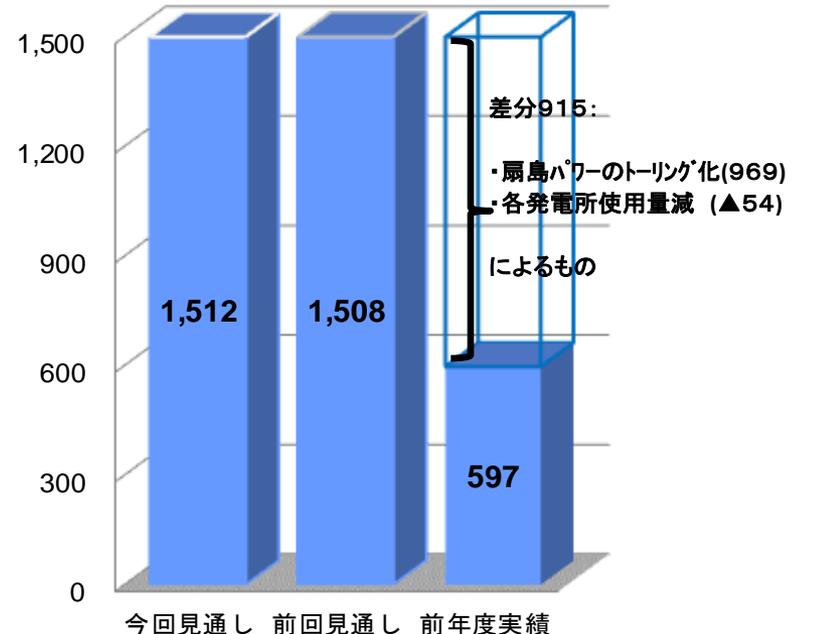
	今回見通し	前回見通し	増減	前年度実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	14,609	14,483	+126 +0.9%	15,390	▲781 ▲5.1%
トーリングによる ガス使用量	1,512	1,508	+4 +0.3%	597	+915 +153.4%
合計	16,121	15,991	+130 +0.8%	15,986	+135 +0.8%

今回見通し販売量の2020ビジョンベース:17,055百万m³

●工業用ガス販売量内訳(単位:百万m³)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	532	2,518	3,050
(対前回見通し)	+45(+9.2%)	▲23(▲0.9%)	+22(+0.7%)
(対前年実績)	+217(+68.8%)	▲991※(▲28.2%)	▲774(▲20.2%)
一般工業用	174	3,132	3,305
(対前回見通し)	+6(+3.7%)	+63(+2.1%)	+69(+2.1%)
(対前年実績)	+84(+94.4%)	▲10(▲0.3%)	+75(+2.3%)
合計	706	5,650	6,356
(対前回見通し)	+51(+7.8%)	+40(+0.7%)	+92(+1.5%)
(対前年実績)	+301(+74.5%)	▲1,001(▲15.0%)	▲699(▲9.9%)

トーリングによるガス使用量



※トーリング: 電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡し受託発電料を得る契約

※うちトーリング移行分: ▲969

2013年度見通し セグメント別売上高・営業損益 <対前回見通し(10月30日発表)>

(単位:億円)

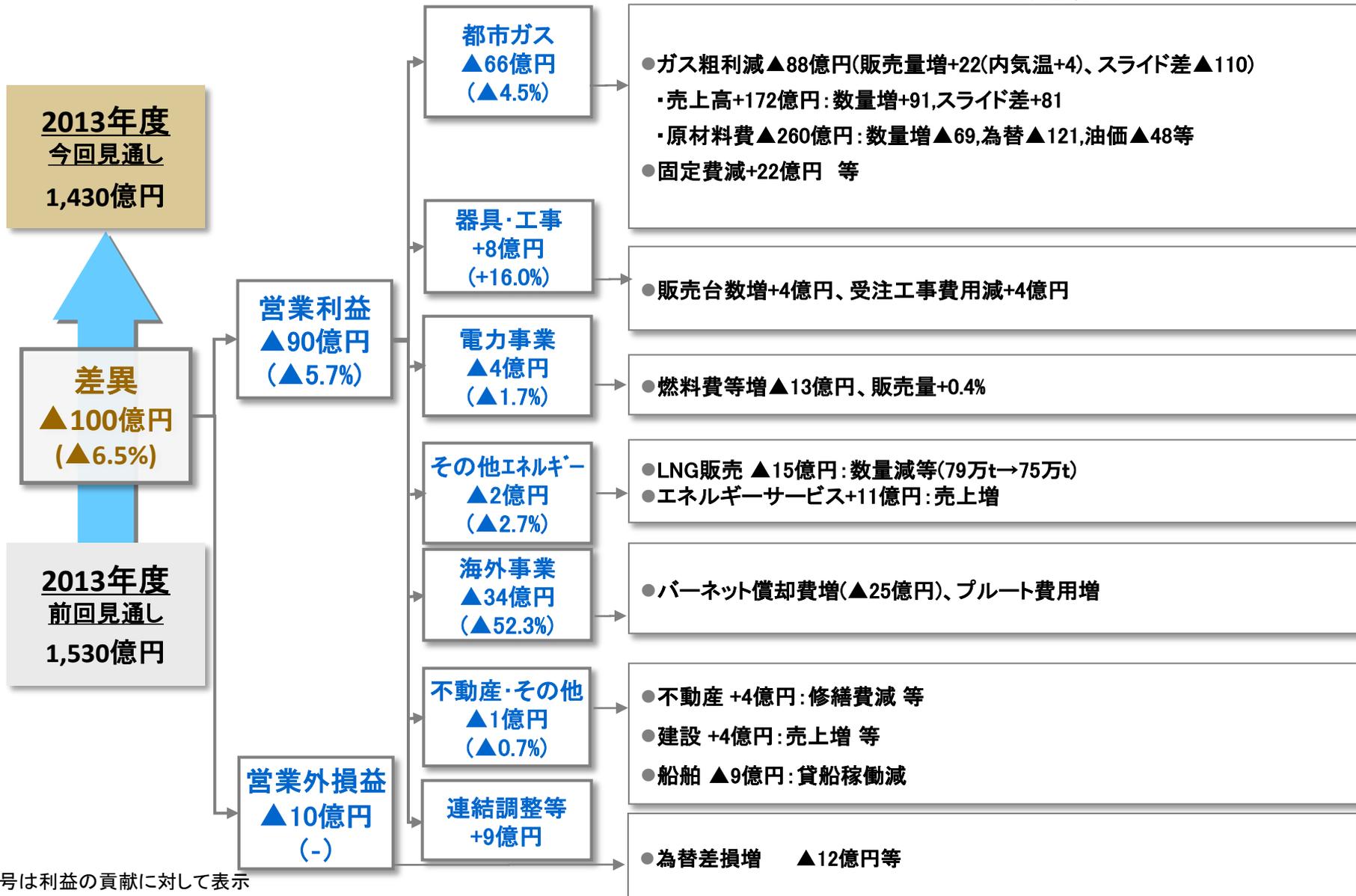
	売上高				セグメント利益			
	今回見通し	前回見通し	増減	%	今回見通し	前回見通し	増減	%
都市ガス	14,922	14,750	172	1.2%	1,402	1,468	▲66	▲4.5%
器具及びガス工事	2,134	2,114	20	0.9%	58	50	8	16.0%
その他エネルギー	3,505	3,488	17	0.5%	298	304	▲6	▲2.0%
(電力事業)	1,348	1,339	9	0.7%	226	230	▲4	▲1.7%
不動産	283	282	1	0.4%	55	51	4	7.8%
その他	1,954	1,926	28	1.5%	110	149	▲39	▲26.2%
(海外事業)	227	231	▲4	▲1.7%	31	65	▲34	▲52.3%
調整額	▲1,938	▲1,760	▲178	—	▲423	▲432	9	—
連結	20,860	20,800	60	0.3%	1,500	1,590	▲90	▲5.7%

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
 - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」等を含みます。
 - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
 - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
 - ・ ()内は内数表示

2013年度見通し 経常利益分析

<対前回見通し(10月30日発表)>

(単位: 億円)



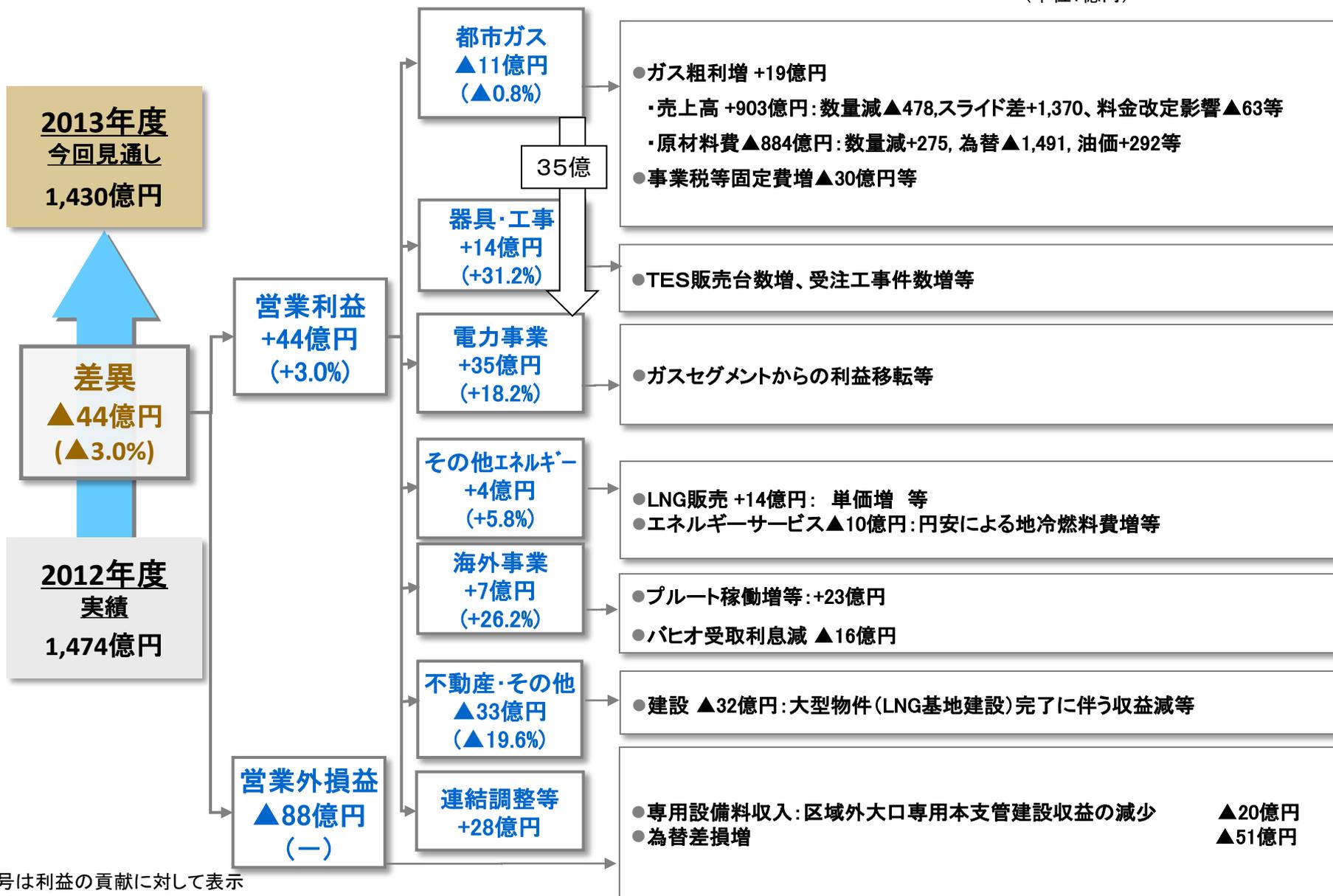
※符号は利益の貢献に対して表示

2013年度見通し セグメント別売上高・営業損益 <対前年度実績>

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今回見通し	2012年度	増減	%	今回見通し	2012年度	増減	%
都市ガス	14,922	14,019	903	6.4%	1,402	1,413	▲11	▲0.8%
器具及びガス工事	2,134	2,060	74	3.6%	58	44	14	31.2%
その他エネルギー	3,505	3,366	139	4.1%	298	259	39	14.9%
(電力事業)	1,348	1,270	78	6.1%	226	191	35	18.2%
不動産	283	302	▲19	▲6.5%	55	56	▲1	▲1.8%
その他	1,954	1,957	▲3	▲0.2%	110	135	▲25	▲18.7%
(海外事業)	227	124	103	82.9%	31	24	7	26.2%
調整額	▲1,938	▲2,550	612	—	▲423	▲451	28	—
連結	20,860	19,156	1,704	8.9%	1,500	1,456	44	3.0%

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
 - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」等を含みます。
 - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
 - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
 - ・ ()内は内数表示



※符号は利益の貢献に対して表示

設備投資

設備投資	主な件名	【参考】前回見通し
東京ガス: 1,375億円 (▲50億円, ▲3.5%)	製造設備 :284億円(±0億円) 日立LNG基地建設等	東京ガス: 1,425億円
	供給設備 :906億円(▲27億円) 茨城～栃木等幹線整備、需要開発関連等	
	業務設備等:184億円(▲23億円) システム関連投資、田町開発関連等	
連結子会社計: 1,140億円 (▲14億円, ▲1.2%)	海外上流投資 726億円 オンサイトエネルギーサービス169億円(ENAC)他	連結子会社計: 1,154億円
合 計 2,480億円(▲60億円, ▲2.4%, 連結消去後)		合計:2,540億円 (連結消去後)

※ () 内増減は対2013年度前回見通しの数値

投融资

▲86億円(海外事業等12億円+融資回収▲98億円、対前回(117)見通し▲203億円:無件名案件200億円の未支出)

株主還元

627億円(TG個別分・キャッシュフローベース、対前回見通し変更なし)
(12年度期末及び13年度中間配当267億円、13年度自社株取得額360億円合計)

所要資金と資金調達

【年度見通し】

(単位:億円)

所要資金		対前回見通し 増減	自己資金	資金調達		対前回見通し 増減
設備投資	2,480	▲60		自己資金	減価償却等	1,390
その他投融資※	▲86	▲203	経常利益		1,430	▲100
決算資金	736	+54	その他		7	▲138
自社株取得	360	0	計		2,827	▲238
償還・返済 (個別分)	532 (392)	+2 (0)		外部資金 (個別分)	1,195 (1,104)	+31 (+31)
計	4,022	▲207		計	4,022	▲207

有利子負債残高

2012年度末:6,425億円

2013年度末見通し:7,240億円(対前回見通し+120億円(上記調達純増+29億円に加え外貨借入時価評価換を含む))

※その他投融資は、投入金と融資金返済による相殺後。

年度内に発行・償還される季節運転資金としてのCPは、上記表には含まれていない。

主要計数表(連結)

(単位: 億円)

	2013年度 今回見通し	2013年度 前回見通し	2012年度 実績
総資産 (a)	21,230	20,840	19,924
自己資本 (b)	9,970	9,740	9,276
自己資本比率 (b)/(a)	47.0	46.7%	46.6%
有利子負債 (c)	7,240	7,120	6,425
D/E レシオ (c)/(b)	0.73	0.73	0.69
当期純利益 (d)	970	1,030	1,016
減価償却 (e)	1,390	1,390	1,387
営業キャッシュフロー (d) + (e)	2,360	2,420	2,404
設備投資 (Capex)	2,480	2,540	1,837
ROA: (d) / (a)	4.7	5.1%	5.3%
ROE: (d) / (b)	10.1	10.8%	11.5%
TEP	502	577	598
WACC	3.2%	3.2%	3.2%
総分配性向	60%程度予定	60%程度予定	60.7%

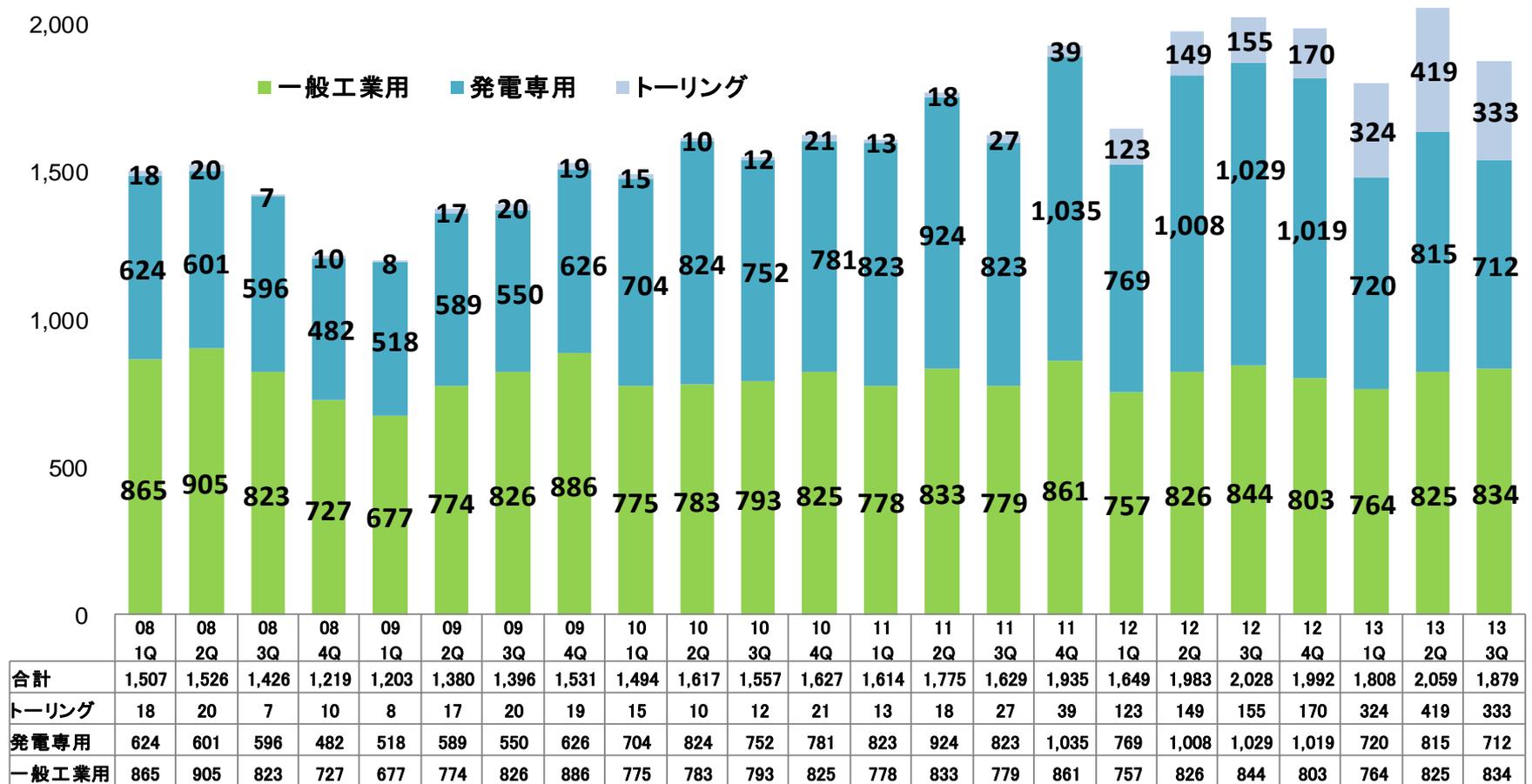
注: 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分
 ROA = 純利益 / 総資産 (期首・期末平均)
 ROE = 純利益 / 自己資本 (期首・期末平均)
 BS関連数値は各期末時点の数値
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却 (長期前払費用償却含む)
 総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益
 * 発行済株式総数: 2,517,551,295株(2013年12月31日現在)

TEP(Tokyo Gas Economic Profit)について
 TEP=NOPAT-資本コスト(投下資本×WACC)
 WACC算定諸元(2013見通し)
 ・有利子負債コスト 金利1.6%
 ・株主資本コスト率 10年国債利回過去10年平均 1.3%
 ・リスクプレミアム 4.0% β 0.75
 ・自己資本=平均時価総額

3. 参考資料

連結工業用ガス販売量推移

(百万m³, 45MJ/m³)



※リーマンショック

※東日本大震災



＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

TSE:9531